

月刊

2023

4

公論

世界の視点で
情報を発信する
総合誌

岸田総理は、G7広島サミットにおいて
議長として「世界の公論」を指し示すべき

提言 本誌主幹 **大中 吉一**

特集

第61回 関西財界セミナー

3年ぶりに国立京都国際会館で対面形式で開催
～変動する世界、日本の針路～

新連載 **日本の安全保障・考①**

ウクライナ侵攻の最新情勢とその影響
—ロシア軍の冬季全面攻勢により崩壊に瀕しているウクライナ軍—

クリエイティブ・ディレクター
株式会社パーティー 代表取締役

伊藤直樹氏

リレー
対談

Sansan株式会社 代表取締役社長
神山まるごと高専 理事長

寺田親弘氏



成功と失敗が
分かれるものは
経営者において
あまりない

全て縁 社会にあった方がいいに決まっている学校創り

3 提言
岸田総理は、G7広島サミットにおいて議長として「世界の公論」を指し示すべき

本誌主幹 大中吉一

リレー対談

成功と失敗が分かれるものは
経営者においてあまりない
全て縁 社会にあつた方が
いいに決まっている学校創り

寺田親弘氏

Sansan株式会社 代表取締役社長
神山まるごと高専 理事長

伊藤直樹氏

クリエイティブ・ディレクター
株式会社パーティー 代表取締役

6

提言

38 第61回関西財界セミナー
3年ぶりに国立京都国際会館で対面形式で開催
変動する世界、日本の針路

連載◎政界展望

28 東日本大震災から12年
現実を置き去りにしたまま「原発政策大転換」

ジャーナリスト 鈴木哲夫氏

新連載◎日本の安全保障・考①

34 ウクライナ侵攻の最新情勢とその影響
ロシア軍の冬季全面攻勢により崩壊に瀕しているウクライナ軍

一般財団法人 日本安全保障フォーラム会長 矢野義昭氏
元陸将補

特集

38 第61回関西財界セミナー
3年ぶりに国立京都国際会館で対面形式で開催
変動する世界、日本の針路

50

連載◎防災の世界を解剖する(68)

災害ボランティアは進化するのだろうか③
公助を補完する災害ボランティア
一般社団法人AD1災害研究所 理事長 伊永 勉

54

近い将来世界をリードする日本の文明文化の拡がりとう興行き
2023年を迎えて(後編)

個人間と科学の研究所所長 飛岡 健

64

特別連載◎「智の梁山泊」

日本の英知が集結する令和の水滸伝③
山部赤人「富士の山」の歌・考

編集部

66

連載◎未病漢方事始め⑩

ヒトは血管とともに老いる⑦
修琴堂大塚医院 渡辺賢治

68

列島いんふおめーしょん

株式会社セブン&アイ・ホールディングス
子どもたちの交流授業から生まれた
毎日着たくなる「ジェンダーレス」商品を発表

78

連載◎グリーン交悠録

「昭和ひとけた会」の記憶③
名門コースで経験した紳士のスポーツ
素晴らしき友人たちとの「交悠録」
本誌主幹 大中吉一

3

提言

リレー対談

《時論公論》

18

I 米大統領の一般教書演説にみる米国の分断

ジャーナリスト 泉 洋海

20

II 戦後初の学者総裁へ 出口問われる日銀

経済ジャーナリスト 八雲豊彦

22

III 迫り来る内外の危機

政治ジャーナリスト/元杏林大学教授 豊島典雄

24

IV インバウンドの復活に期待

コロナ後の観光業界
ジャーナリスト 三木寛郎

26

連載◎欧州からニッポンを見る(331)

グローバルビジネスの再起動に求められるパーパス経営
在仏コラムニスト 安部雅延

28

連載◎政界展望

東日本大震災から12年
現実を置き去りにしたまま「原発政策大転換」
ジャーナリスト 鈴木哲夫

34

連載◎日本の安全保障・考①

ウクライナ侵攻の最新情勢とその影響
ロシア軍の冬季全面攻勢により
崩壊に瀕しているウクライナ軍
一般財団法人日本安全保障フォーラム会長/元陸将補 矢野義昭

38

特集

第61回関西財界セミナー
3年ぶりに国立京都国際会館で対面形式で開催
変動する世界、日本の針路

48

連載◎医療最前線 長尾和宏の「生」と「死」

ワクチンが超過死亡急増の主因 定期接種化は論外
医学博士 長尾和宏

『月刊公論』電子版がスタート。
下記QRコードをご参照ください。
【QR】
<https://www.kohronarc.jp/>



